

学園だより

'2012 オープンキャンパス開催!!

～希望の学科・専攻を1日で体験できる絶好のチャンス～

2012年度の吉備国際大学、吉備国際大学短期大学部、順正高等看護福祉専門学校オープンキャンパスに参加してみませんか？
受験生にとっては、将来を決める大事な選択をせまられるこの時期、自ら参加して学生生活の一端を体感してみてください。
また、受験生だけでなく、高校1、2年生や社会人の進学希望者はもちろんのこと、保護者もぜひ一緒に参加して下さい。
教職員一同、皆さんの参加を心よりお待ちしております。

会場：大学、専門学校…『高梁キャンパス』（高梁市伊賀町8）
短期大学部…『岡山駅前キャンパス』（岡山市北区岩田町2-5）

メインオープンキャンパス		学科別ミニオープンキャンパス	
日	時	日	時
7月22日(日)、8月25日(土)、9月23日(日)	10時30分～16時(受付10時～)	5月27日(日)、6月23日(土)、11月17日(土)、12月1日(土)、12月22日(土)、2月17日(日)、3月16日(土)	13時～16時30分
当日はキャンパス見学、学部・学科紹介、ミニ講義、入試相談、AO面談、在学生コーナー、体験コーナー、学食体験、保護者相談コーナーなどを実施します。 また、備中高梁駅から無料送迎バスを随時運行します。		当日はキャンパス見学、学科紹介、入試相談、AO面談、保護者相談コーナーなどを実施します。 ※入試広報室へ電話にて参加をお申し込みください。	

※短期大学部は、いずれの日も岡山駅前キャンパスにおいて13:00～16:30に開催します。
その他、10月14日(日)13:00～16:30に岡山駅前キャンパスで「学科説明会」を開催いたします。

■問い合わせ・申し込み先 順正学園入試広報室 (☎0120-25-9944)

成羽病院通信

健康なときにこそ人間ドックを受けよう

～人間ドックとうまく付き合うポイントは？～

◎人間ドックを受けるメリットは？

がんや病気を早期に発見でき、早期の治療が可能となります。
また、生活習慣病の発症予防や健康づくりにもつながります。

◎人間ドックとうまく付き合うポイントは？

- ①1年に1回は受診しましょう。
(毎年受けることで不調を早く発見できます。)
- ②データが正常範囲でも安心せず、自分の数値に関心を持ち、その変化を知りましょう。
(過去のデータとの比較ができます。)
- ③できるだけ、同じ健診機関で受診しましょう。
(過去のデータとの比較ができます。)
- ④要医療、要精密検査と診断された場合は必ず受診しましょう。
- ⑤必要によりホームドクターに健康状態を知ってもらいましょう。
(健康管理に役立ちます。)

会社員は定期健診や人間ドックの受診が定着してきましたが、主婦は健診の機会が少ないのが現状です。
これからの人間ドックは、自分だけでなく大切な家族と一緒に受けることをお勧めします。
また、人間ドック当日は、健診スタッフとの気軽なコミュニケーションを楽しむのも新鮮なものです。
日常の生活から少し離れた場所で、ゆっくり楽しみながら「自分の健康状態を知る」1日にしてみたいでしょうか。

成羽病院人間ドックのご案内 (一部紹介)

- ・日帰り人間ドック：29,400円
- ・簡易脳ドック：19,800円
- ・オプション検査
 - 乳がん検診(視触診+マンモグラフィー)：5,050円
 - 子宮がん検診：3,500円
 - 骨密度測定：3,780円

■問い合わせ 成羽病院健診担当(☎43111)

地名をさぐる

八十二 宇治町 穴田



御前神社から日名方面を望む

高梁市宇治町に「穴田^{あなだ}」という地名があります。「穴田」は、明治一四年(一八八一年)にかけて、川上郡の内、塩田村と丸山村が合併して成立した「穴田村」でした。明治三二年には、宇治町の大字「穴田」となり、昭和二九年からは、高梁市宇治町の大字「穴田」となって現在に至っています。東には高倉町、西や南には成羽町長地・布寄や小泉が、北には成羽町中野や吹屋があります。西からは塩田川が島木川へと流れて合流しています。集落は、枝状に広がる谷筋や窪地状になった斜面に点在しています。そして、小字地名に白和、野呂、日名、宮陰地、陰地などの地名が見られ「穴田」の地形が想像できるのです。

宇治は、歴史の古い地域で、この「穴田」という地名も、平安時代の「倭名類聚抄」(和名抄)の「備中国下道郡」の頃に「穴田」(安奈多)とあって、備中一五郷の一つに記録されています。今では、この「穴田」の郷域は、明確ではありませんが、現在の宇治町本郷、宇治町穴田、宇治町宇治一帯に推定される説が有力だとされています。

中世には、承久の乱(承久三年(一二二二年))の戦功によって、穴田郷など近郷をもらって新補地頭として、信州から赤木氏が中野村滝谷城に入部して、のち土居屋敷に居住していた(赤木家文書)といわれています。また「吉備津神社文書」(岡山県古文書集)によると、吉備津神社へ「五百文、あなた中村直納」とか、「壹貫二百文 あなたさか本かくす所」とか、「二貫五百文 穴田西方直納路銭三百文」などと「流鏑馬料足納帳」に康正三年(一四五七)などの記録として「穴田」が納めたという記録が出てきます。また、「川上郡誌」に天正一一年(一五八三)一月一六日の御前神社(遠原村)所蔵の棟札銘に「穴田郷四箇村」とあって、遠原村など四か村が御前神社の領域だったことがわかるのです。安土桃山時代には、赤木忠房の嫡男、忠道が築城したと言われる丸山城跡があって、高松城水攻めの時、救援にかけつけ、毛利氏より感状と領地をも

近世の宇治村「穴田」は、毛利の支配から慶長五年(一六〇〇)幕府領、元和三年(一六一七)松山藩領、そして、元禄六年(一六九三)再び幕府領となり、同八年には松山藩領となって明治を迎えています。

「穴田」という地名は、古代から伝えられている地名で、市内に残る歴史地名の一つなのです。
(文・松前俊洋さん)

